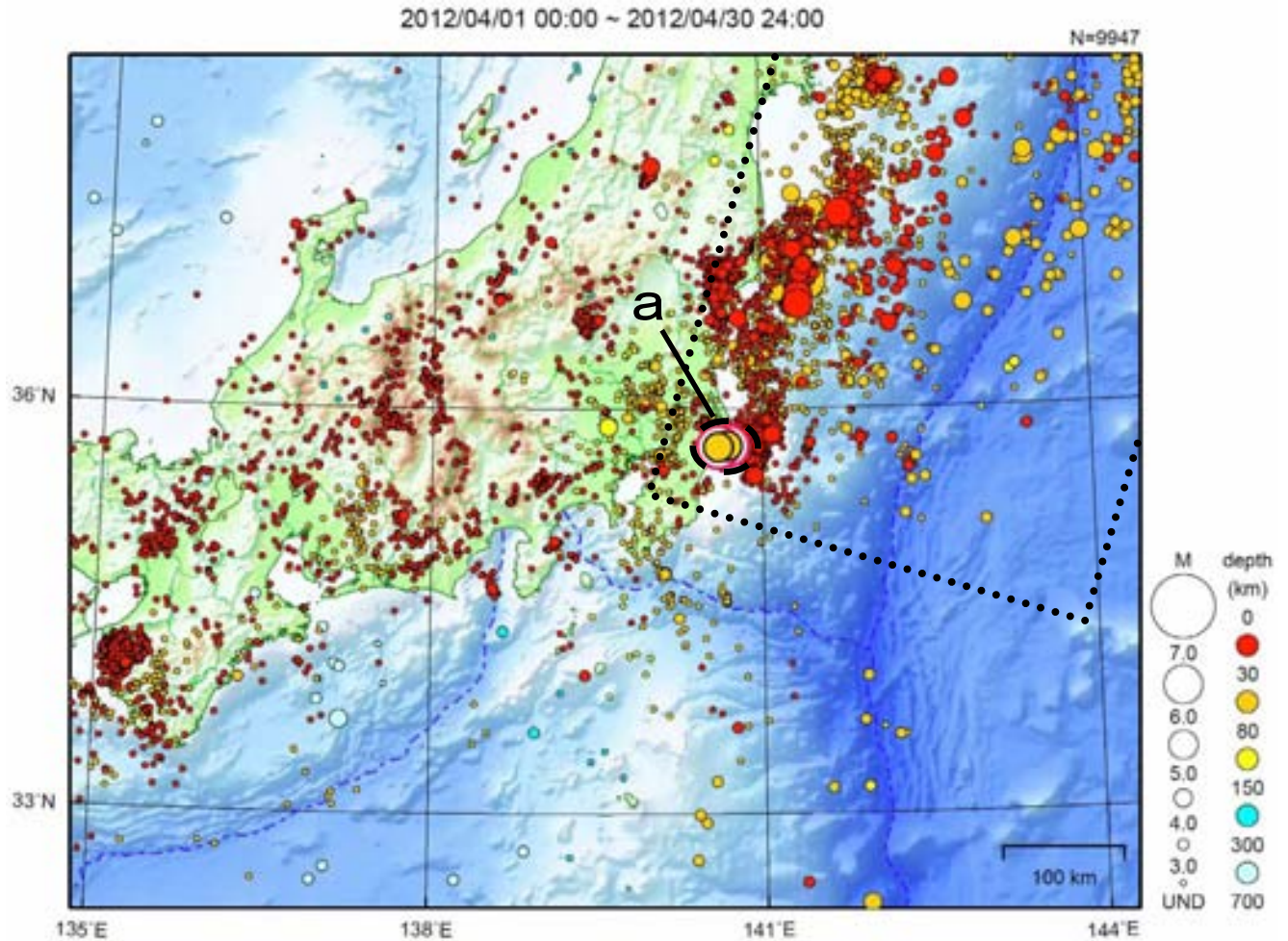


関東・中部地方



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a) 4 月 25 日に千葉県北東部で M5.5 の地震（最大震度 4）が、4 月 29 日に M5.8 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。

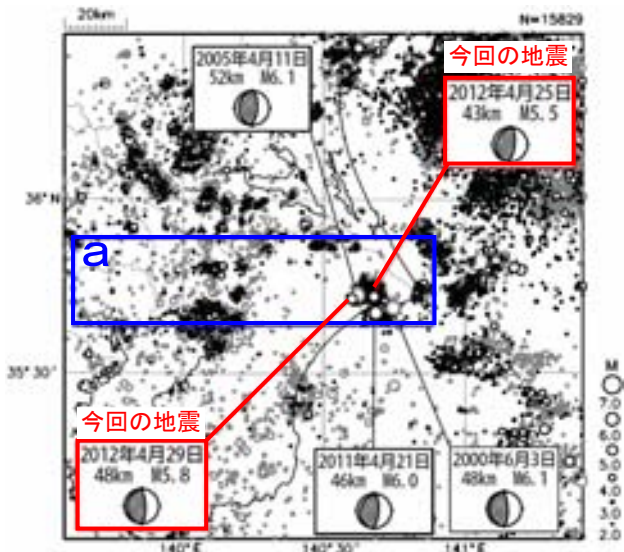
気象庁は 25 日の地震に対して[千葉県東方沖]で情報発表した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

4月25日、29日 千葉県北東部の地震

4月25日に発生した地震の情報発表に用いた震央地名は「千葉県東方沖」である。

震央分布図（1997年10月1日～2012年4月30日、
深さ30～90km、 $M \geq 2.0$ ）
2011年3月以降の地震を濃く表示。

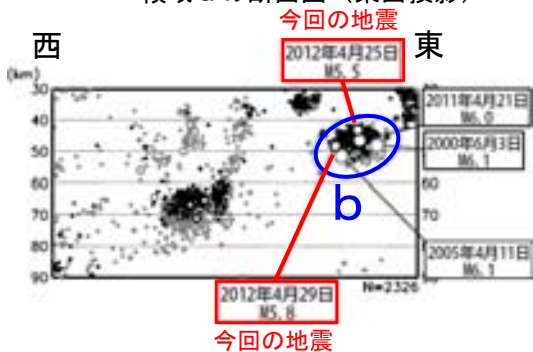


2012年4月25日05時22分に千葉県北東部の深さ43kmで $M 5.5$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと太平洋プレートの境界で発生した地震である。

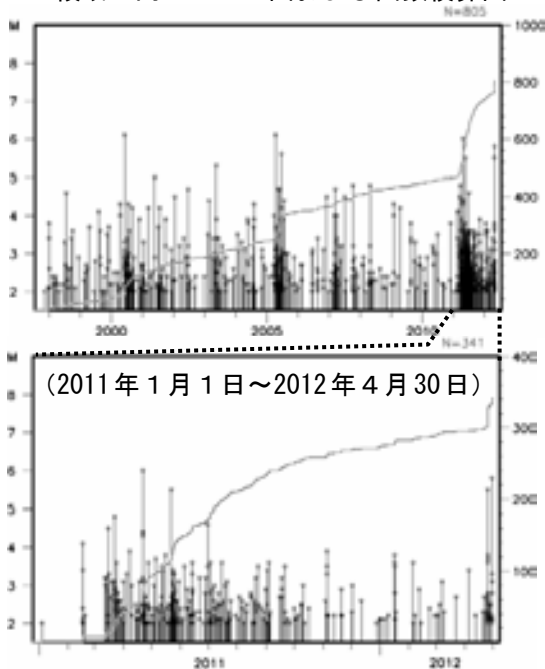
また、4月29日19時28分に千葉県北東部の深さ48kmで $M 5.8$ の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと太平洋プレートの境界で発生した地震である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）は、普段から地震活動のある領域である。2011年3月から活動がより活発になっていたが、その後、今回の地震の発生まで徐々に減衰していた。

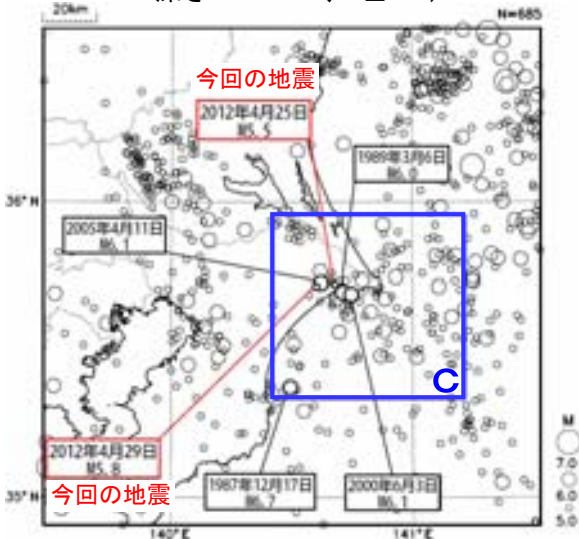
領域aの断面図（東西投影）



領域b内のM-T図および回数積算図



震央分布図（1923年1月1日～2012年4月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$ ）



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域c）は、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生しており、そのうち、1987年12月17日に発生した $M 6.7$ の地震では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、一部破損7万余などの被害が生じた（理科年表による）。

領域c内のM-T図

